



二学期のスタートです

校長 新家子 直之



夜風の涼しさと草むらの虫の声に、季節の移り変わりが感じられる頃となりました。今年の夏も厳しい暑さでしたが、それでも休み中に見かけた子どもたちは元気な様子で、暑さも含めて夏を満喫しているようでした。この夏休みは、どの子もすてきな思い出が作れたことと思います。

地域・保護者の皆様には、夏休み中も子どもたちを見守っていただきありがとうございました。おかげさまで、大きな事件・事故もなく、休みを終えることができました。

さて、今日から二学期がスタートしました。この4ヶ月間は、行事もたくさんあり、豊かな体験をするよい時季です。また、気候も良く、学力・体力を伸ばしていくにも最適です。

子どもたちには、一学期より少し高い目標を持ち、挑戦・努力して達成を目指してほしいと思っています。一人一人が活躍でき、充実した学校生活が送れるよう、私たち職員も全力で指導・支援してまいります。今学期もご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

この夏の出来事から

この夏も、全国でいろいろな事件・事故等がありました。私は特に強く感じるがあった二つの出来事がありました。どちらも『命を大切にする』ということに関わっているものです。皆様のご家庭でも話題に上りましたでしょうか。

<『煽り運転』の事件報道から>

加害者が車から降りてきて、被害者に暴行する映像がテレビで何度流れたことでしょうか。「これは、ひどい」と感じられた方がほとんどだったと思います。加害者はどうしてここまで怒りを爆発させ、相手にぶつけたのでしょうか。

この報道を見て、私は自分の感情（特に怒り）をコントロールする力、相手の立場になって考える力が欠如することの恐れを感じました。

本校では、子どもたちに『けやき』の子になるために、「がまん玉」「しんせつ玉」「みつけ玉」の3つの玉磨きに取り組んでいます。二学期の学校生活の様々な場面で、自分がすべきことを正しく判断し、自分を律し、自分も相手も大切にすることを、一つ一つ確かめていきたいと思っています。

また、今回もネット上での誹謗中傷がひどかったようです。ネットモラルやスマホ等の使い方についても話をしていきます。ご家庭でもぜひご指導をお願いします。

<大雨、ゲリラ豪雨等の気象から>

この夏に、大きな台風が日本にいくつもやってきて、各地で被害が出ました。川越市でも警報が出るような突発的な大雨が何度か降りましたね。これまで聞き慣れなかった『線状降雨帯』という言葉も、定着してしまいました。

このような大雨には、いつどこで遭遇するかも知れません。川越市が作成している内水ハザードマップ（短時間で大雨が降った時、河川の氾濫等とは別に、どこが冠水しやすいかを表したもの）を見ると、10cm～50cm未満の浸水危険地域が本校学区にもありました。これからは、絶対に安全な場所はないと考えた方がよいかも知れません。自分の命を守るために、急な天候の変化に対応できる力を身につけていかなければなりませんね。（防災キャンプなどはとてもありがたい体験です。）

昨日は、『防災の日』でした。子どもたちは、学校にいる時に地震等があれば、どう行動するかは訓練していますが、家にいる時はどうでしょうか。

大雨に限らず、災害が起こった時にどう対処すべきか、何を準備しておくべきかをもう一度、家族一緒に確かめていただければ幸いです。

